

# 神奈川県施工計画添削事例

溢水など不測の事態が起きそうな場所はどこなのか？  
 ⇒そこに対して何か対策は取れないのか？  
 ⇒沿道に対して工事による被害を及ぼさないためにはどうする？  
 ⇒沿道に対して土のうなどを提供することは考えないのか？  
 ⇒沿道への情報提供  
 ⇒沿道の避難を支援する対策

何の説明もなくいきなり組織名が出てくるのはまずい。

評価項目	施工上配慮すべき安全対策に係る技術的所見
(具体的な施工計画)	文字のポイントは12ptとし、行数の変更を禁止します
●「出水と急な増水時における安全対策について」 (20行以内)	
A 溢水などの不測の事態に対する災害防止対策について	
B 急な増水時における作業員に対する安全対策について	
	インターネットで事前調査する。
	(洪水注意報・時間/11mm)
	災害対策組織に基づき
	避難場所を指定し、緊急時資機材をすぐ調達できるようにしておく。
	取り、
	すばやく現場と連絡を
	毎日確認する。
	作業中止の連絡・伝達方法を教育する。
	・安全訓練時に、
	何時なのか？回数などは重要。

“事前調査する”ではダメ！  
 ⇒今は調査していません。今できる範囲で調査して「現地の環境条件」として記述する。

11mm/時間ではないのか

避難退避場所を具体名を入れて記述できないのか？

具体的でない。置き場は？数量は？

主語がない。誰が現場と連絡？

当たり前すぎる。  
 全体の記述が誰でもが記述するような事柄に終始している。

もう少し、思い切った、刺激的な対策を盛り込んだ記述にならないか？

課題Bに対しては

1. 作業員を絶対に災害に巻き込まない。
2. 訓練・教育・確認・伝達・連絡等の言葉が並ぶが生ぬるいのでは？
3. 作業員全員が急な増水で流されて死亡するには、どんな手抜きを現場ですれば良いのか？というような逆の発想から課題をあぶり出す。そして、その対策を記述する。

親綱、命綱、ライフジャケットなどの備えをどのようにするのか？

- ・急な増水を予測する仕組みは？
- ・上流の橋などの増水、増水勾配から現場の増水を予測できるような仕組みは？

作業中止基準は？

課題Aに対しては

1. 第三者に工事に起因する被害や迷惑は絶対に掛けない。
2. 工事に起因する溢水でない場合でも第三者を支援する。

を絶対にやりきる決意を記述しないと評価されない。

最初の2つぐらいは“おっ”と思ったのだがあとは尻すぼみ。

現地を見たという印象が皆無。  
 発注者が恐れていることは第三者に対する被害と作業員が流されること。